

私たち、めざす病棟づくりの
仕掛け人！

中日新聞
「リンクト」LINKED
PRESENTS

シアワセを つなぐ仕事

田中 史、上原美香
松下美加、横井翔子

JCHO中京病院

●26病棟

企画制作 中日新聞広告局 編集 プロジェクトリンクト事務局



HERE! e-LINKED
www.project-linked.jp/

和やかな病棟の雰囲気づくりを大切に、 転院・退院後の生活を見据えた 質の高い看護を提供していきたい。

26病棟の特長は 患者の笑顔と 雰囲気の良さ。

「鬼はそとく、福はうちく」。

その日、中京病院・26病棟のディルーム室から、楽しげな声が響いていた。入院患者を集めて行われた、節分の豆まきである。これは、同病棟で毎週1回開催されているレクリエーション。季節の行事のほか、童謡「一ラスや風船遊びなど多彩なプログラムが企画されている。レクリエーション」というと、回復期の病院や施設などで症状の落ち着いた患者を対象に行われるイメージがあるが、なぜ、高度急性期病院である中京病院で行われているのだろうか。その問い合わせたのは、入職4年目の田中美看護師。「26病棟は高齢患者さんが多いんですね。それで、

どうすれば患者さんの離床を促し、早期退院に繋げられるだろうと考えたとき、「楽しみながら体を動かすことはできないか」というアイデアが生まれ、この取り組みを始めました」。高度急性期病院の使命は、高度な治療を短期間で集中的に提供し、早期退院を促すことにある。そこで近年は、急性期から積極的にリハビリテーションを開始するようになつてきだが、その考え方を一歩進めて、レクリエーションの取り組みがスタートしたのだという。その成果について、



COLUMN

● 中京病院では、「自律できる人づくり」をコンセプトに、新人看護職員を病棟全体、チーム全体で育てる体制を敷いている。特筆すべきは、その指導者層の厚みだろう。左頁の図で示したように、新人看護職員のパートナーとなる「チーム支援者」だけでなく、「チューター」「実地指導者」「新人管理研修担当委員」「看護師長・副看護師長」に至る各階層の職員が、それぞれの立場で新人教育に関わり、看護師一人ひとりの成長スピードや個性を尊重しきめ細かい教育を実現している。

● 学ぶ人、教える人、教える人を支える人：という屋根瓦方式で人員を配置している狙いの一つは、「教える人のストレスを軽減する意味合もある。「教える側は常に大きなプレッシャーと責任を感じています。その負担が軽くなるように助言したり、新人にも直接声をかけるようにしています」と、リーダーの横井は話す。

田中と同期の松下美加看護師は「患者さんのイキイキした表情が見られ、日常生活機能の向上に役立つことを実感しています。それに、患者さんの笑顔を見ると、私たちも元気になれます」と話す。

このレクリエーションに象徴されるように、26病棟にはどこか和氣あいあいとした空気感が漂う。「そうなんです。この雰囲気の良さは、私たちの病棟の自慢です。患者さんとの「ミニユニケーションを大切にしています

し、職員同士の関係もとても良い」と田中は語る。田中によると、26病棟の看護師たちは、患者さん一人ひとりの立場や状況を理解し、個々に合わせたサポートを行っている。また、看護師たちは、患者さんとのコミュニケーションを大切にし、笑顔で接する姿勢が、病棟全体の雰囲気を明るくしている。田中は、「26病棟は、患者さん一人ひとりの立場や状況を理解し、個々に合わせたサポートを行っている」と語る。田中によると、26病棟の看護師たちは、患者さん一人ひとりの立場や状況を理解し、個々に合わせたサポートを行っている。また、看護師たちは、患者さんとのコミュニケーションを大切にし、笑顔で接する姿勢が、病棟全体の雰囲気を明るくしている。田中は、「26病棟は、患者さん一人ひとりの立場や状況を理解し、個々に合わせたサポートを行っている」と語る。

A photograph of two female dental hygienists in a clinical setting. The woman on the left is smiling broadly, showing her teeth. The woman on the right is also smiling and is wearing white gloves; she is holding up a small, white, rectangular dental product with a yellow label that reads "DENTAL". They are both wearing white uniforms with blue piping around the collar.

かでいつも心がけているのは、
二人が肌で感じていて「病棟の
良さ」を継承していくことだと
いう。「急性期だから、患者さ
んの入退院も多く、あわただし
いところもあります。でも、穩

私たちのめざす病棟の姿です。後輩たちがそんなふうに、病棟の良さをきちんと理解してくれて継承していくことがうれ

チームリーダーは、病棟のなかで、看護師長・副看護師長が示す方針のもとで、病棟の看護全体に目配りし、看護師の業務補つたりしながら、実務を率い量のバランスを見たり、不足を

好です」と田中は声を強ませる
厚い看護が要求される高度急性期病院では、看護師はともすれば業務に追われがちになる。

霧气回りに包まれることで看護師は心のゆとりを取り戻すことができ、患者にとっても心やすらかに療養できる環境を作っている。

病棟の良き風土を
後輩たちに
継承していく。

入職4年目となる田中と松下は今年度（平成27年度）初めて、新人のチユーターの役割を担当した。「初めて教える立場になり、自分たちも学ぶことがいっぱい」と苦笑する一人だが、教えるな



「生活や地域通勤への意識も持つように指導しています。入院期間の短縮化に伴い、患者さんを地域（生活の場）にお帰することを念頭に置いて、看護することが重要になってきましたから」と話す。

一人のチユーターの言葉を聞き、大きくなづくのが、チーリーダーの横井翔子と上原美香である。横井は「それこそ、

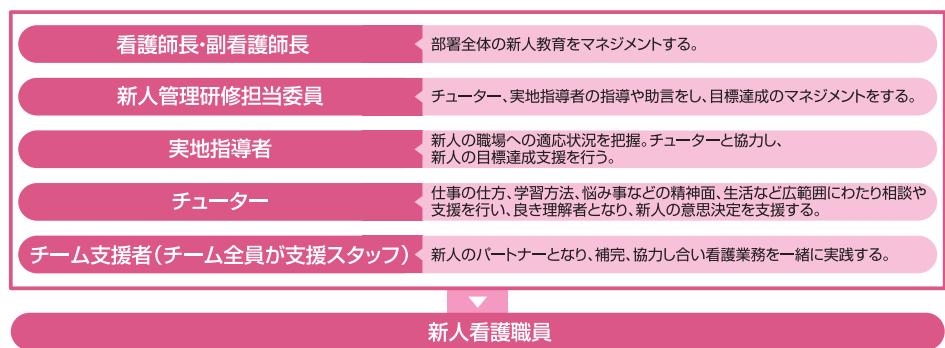
「病棟」くいの仕掛け人」と言はざまに、その大きな責任を一人は自覚し、これまで何度も26回の病棟のこれからについて熱い議論を交わしてきた。「患者さん」の急変への対応などで、看護師同士がピリピリすることもあります。でも、それをカバーするだけのふわっとしたゆとりの空気感や、みんなで助け合つุมづくりを大切にしていくこと

回復期の病院へ
シームレスに
看護を繋いでい

話しあります」(上原)



中京病院・看護部新人職員教育体制



早期に自宅に帰れるような診療計画を、治療に関わる医療機関で共有して活用するもの。同病棟では「大腿骨頸部骨折」の患者に関して地域連携バスを積極的に運用。看護師が地域連携バスの趣旨をよく理解し、連携先の回復期の病院スタッフと連携の回復期の病院スタッフと連携を図りながら、患者のスムーズな転院を支援している。

しかし、地域連携バスの導入前は、その言葉の意味をよく知らない看護師も多かったという。

そこで上原たちは、クイズ形式で楽しみながら地域連携バスを学ぶ勉強会を開催したり、病棟で楽しみながら地域連携バスについて理解を深めてきた。「回復

期の病院見学では、リハビリテー

ションで元気を取り戻した患者さんに再会することもでき、日々の看護のモチベーションアップに繋がっています」と横井は話す。

最後に、リーダーの二人にこれから戦略について聞いてみた。「やはりこれからも、患者

患者の在宅療養支援も視野に入れ、さらに看護の質の向上を図る。

さんが笑顔で過ごせるような病棟にしていきたいと思います。そのためには、看護師一人ひとりの知識・技術をもつと底上げしていくかなくては…」と話すのは、横井である。そこで横井が考えているのが、同院のリソースナース（※）の活用だ。「26病棟では、老人看護専門看護師や認知症看護認定看護師が、認知症やいろいろな健康問題を抱える高齢の患者さんのケアについて指導してくれています。そうした専門的な看護の知識と技術をもつと学び、チーム全員で共有していくたいですね」。

一方、上原は院内から地域へ

患者さんが質の高い看護を受けられるように、地域の回復期病院と顔の見える関係をさらに深めていきたいと考えています。また、自宅に帰られる患者さんについても、退院に同行するなどして、安心の在宅療養のスタートを支えていたら理想的ですね」。

●中京病院では、「地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献する」というJCHO（独立行政法人地域医療機能推進機構）の理念のもと、地域医療機能推進機構の理念のもと、地域医療の要となる病院づくりを推進している。その一つとして、地域連携バスや認知症看護の一環であるレクリエーションを通じて地域に目を向けた看護の取り組みを実践している。

BACK STAGE



企画制作
中日新聞広告局
編集協力
JCHO中京病院
〒457-8510
愛知県名古屋市南区三条1-1-10
TEL 052-691-7151(代表)
FAX 052-692-5220
<http://chukyo.jcho.go.jp/>

お問い合わせ
中日新聞広告局広告開発部
TEL 052-221-0694
FAX 052-212-0434
プロジェクトリンク事務局
TEL 052-884-7831
FAX 052-884-7833
<http://www.project-linked.jp/>

中日新聞
「リンクト」
PRESENTS

シアワセを
つなぐ仕事

プロジェクトリンクト

検索

LINKED VOL.21 タイアップ